

医療福祉機器等参入促進セミナー2025

超高齢化社会の到来により、医療機器や福祉機器の需要が拡大しつつあります。

医療機器や福祉機器の開発に向けたノウハウや具体的な事例を学ぶとともに、現場ニーズを知ることで、モノづくり企業様などのヘルスケア分野への参入や事業拡大のきっかけとなるセミナーです。

参加無料

日時

2025年12月9日(火)13:00~16:20 (受付開始12:30)

会場

テクノプラザものづくり支援センター本館 4F プラザホール
(岐阜県各務原市テクノプラザ1-1)

対象

医療福祉機器等への参入に関心のある県内中小企業の方

定員

60名(先着順)

プログラム

■基調講演

・「福祉現場のニーズと福祉機器開発の役割」

岐阜県介護研修センター 次長 渡邊 尚行 氏

■モノづくり研究会

・「発想を形にする技術力:タナックの挑戦が支える安心・安全な素材とフェムテックへの取組」

株式会社タナック 課長 永田 まどか 氏

・「移動支援機器 BabyLocoの開発」

株式会社今仙技術研究所 取締役 伊藤 智昭 氏

・「"リアル下町ロケット"航空から防衛、そしてヘルスケアへ。」

林輝工業株式会社 ISO事務局 林 竜司 氏

■ニーズ説明会

令和7年度医療福祉現場ニーズ調査結果と新規開発が期待されるニーズの説明
調査先 社会福祉法人慈恵会、岐阜ハートセンター等

岐阜県産業経済振興センター 医療福祉コーディネーター 片桐 勝広

■岐阜県の取組紹介

申込

12月2日(火)までに、
二次元コードから
お申し込みください(先着順)



faxの場合は、「参入促進セミナー申込」と記述の上、会社・団体名、氏名、部署、役職、メールアドレス、電話番号を送付ください。

fax 058-379-2215

アクセス



<主催>

岐阜県、公益財団法人岐阜県産業経済振興センター

[開会 13:00]

■基調講演 13:05～14:35

「福祉現場のニーズと福祉機器開発の役割」

岐阜県介護研修センター 次長 渡邊 尚行 氏

福祉機器開発において、医療・福祉の現場のニーズは非常に重要です。また、福祉機器も現場にとってはますます重要なものになってきています。

現場からでるニーズをどう把握して機器開発に活かすか、ユーザー(利用者・支援者)目線でお伝えします。



岐阜県福祉事業団入職後、福祉用具普及担当、ケアマネジャー、地域包括支援センター等を経て現職にて福祉用具の普及と県民、医療・福祉専門職の研修企画、運営を行う。岐阜市介護支援専門員連絡協議会 副会長。福祉用具プランナー、主任介護支援専門員。

■モノづくり研究会 14:50～15:50

<医療福祉機器の開発事例の紹介>

・「発想を形にする技術力:タナックの挑戦が支える安心・安全な素材とフェムテックへの取組」
株式会社タナック 課長 永田 まどか 氏

・「移動支援機器 BabyLocoの開発」
株式会社今仙技術研究所 取締役 伊藤 智昭 氏

・「"リアル下町ロケット"航空から防衛、そしてヘルスケアへ。」
林輝工業株式会社 ISO事務局 林 竜司 氏

■ニーズ説明会 15:50～16:10

<令和7年度医療福祉現場ニーズ調査結果と新規開発が期待されるニーズの説明>
岐阜県産業経済振興センター 医療福祉コーディネーター 片桐 勝広

- ① 車椅子使用者の入浴移乗時自立支援器具
入浴着替え・ベッド移乗時に患者が力を入れやすく角度・高さ調整ができる手すり
- ② 入浴時のスライディングシート
ベッドから入浴用車椅子への移乗や入浴中にも使用の防水スライディングシート
- ③ 下肢静脈エコー時のミルキング機器
静脈エコー施行時に逆流確認するため、手もみの速さで加圧/減圧できる機器
- ④ 点滴・透析穿刺チューブのズレ検知システム
血液回路・点滴の穿刺チューブが液漏れする前に警告検知できるシステム
- ⑤ 超音波画像診断装置のプロープ固定保持具
歩行訓練時にプロープで筋肉の動きを見ることが出来るズレない固定治具
- ⑥ スキンテア予防できる服
スキンテア予防と着脱や観察が容易にできる服・アーム(レッグ)カバー
- ⑦ 点眼補助機器
患者さんが的確に点眼薬を滴下させることができる点眼補助機器

■岐阜県の取組紹介 16:10～16:20